



越境大気汚染対策推進費

平成29年度要求額
366百万円（342百万円）

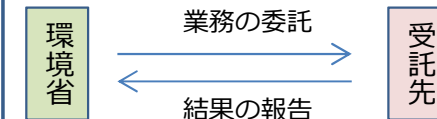
背景・目的

- 東アジア地域の急速な発展に伴い、我が国への黄砂や越境大気汚染が懸念される。
- 継続的にモニタリングを実施し、越境大気汚染や黄砂に関する実態解明を着実に推進する。
- 国際的には、EANET参加国のモニタリング等の能力向上を図るとともに、TEMMの枠組みの下、大気汚染に関する政策対話やワーキンググループを通じた協力や、黄砂に関する共同研究を進める。

事業概要及びスキーム

- 東アジア地域における越境大気汚染対策のための国際協調推進費（97百万円：民間団体委託）
- 越境大気汚染モニタリング推進費（269百万円：民間及び地方公共団体委託）

事業スキーム



期待される効果

- 越境大気汚染や黄砂の実態解明、科学的な知見に基づく国際協力の推進。
- 我が国への黄砂や越境大気汚染の緩和。

東アジア地域における越境大気汚染対策のための国際協調推進費

東アジア地域における大気環境管理戦略の検討

東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）活動や日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM）の枠組み等を活用した、東アジア地域の大气汚染防止のための戦略の検討。

EANETの発展の促進

EANET参加国（日本を含む13か国）の協働によるPM2.5・オゾン等のモニタリング強化等。

TEMMの下での国際協調の推進

TEMM等における合意を踏まえた、大気汚染や黄砂に関する協力（ワーキンググループや技術ネットワークを通じた協力）の推進。

データや
知見の活用

越境大気汚染モニタリング推進費

「越境大気汚染・酸性雨長期モニタリング計画」（H26年3月改定）に基づき、越境大気汚染・酸性雨の影響を早期把握するための体制構築とモニタリング実施。

黄砂の飛来実態の把握のため、黄砂実態解明調査、飛来状況リアルタイム観測網構築・情報提供等を実施。